

# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)マルシヨク曾根店	階数	地上1F
建設地	福岡県北九州市小倉南区曾根北町	構造	S造
用途地域	曾根地区地区計画・法22条地域	平均居住人員	XX人
気候区分		年間使用時間	XXX時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年8月 予定	評価の実施日	2013年3月21日
敷地面積	7,880 m <sup>2</sup>	作成者	河村晃
建築面積	3,131 m <sup>2</sup>	確認日	2013年3月21日
延床面積	2,995 m <sup>2</sup>	確認者	石川哲夫



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4**

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.3

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	周辺環境との調和をはかるため、建物配置、形状、色彩等を工夫した。また、防犯性を考慮し、民家側と荷捌き部分を除き、視界を遮らない外構計画とした。	<b>その他</b> 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
<b>Q1 室内環境</b>	交通量の多い道路からの騒音を防ぐため、道路からできるだけ離れた建物配置とした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 周辺の景観に調和するよう、建物の外装等の色彩、形状は、周辺への圧迫感を軽減するよう考慮した。
<b>LR1 エネルギー</b>	建物内外の熱の出入を抑制するため、外壁、屋根裏に断熱材(グラスウール)を設置。	<b>LR3 敷地外環境</b> 建物利用者の駐車場、駐輪場は、適切な量を確保した。
<b>Q2 サービス性能</b>	竣工後の改装、メンテナンスを考慮し、天井ふとこを大きくした。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	揮発性有機化合物の発生を抑制するため、F 建材を全面使用とした。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
**Q: Quality** (建築物の環境品質), **L: Load** (建築物の環境負荷), **LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性), **BEE: Building Environmental Efficiency** (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい